

各位

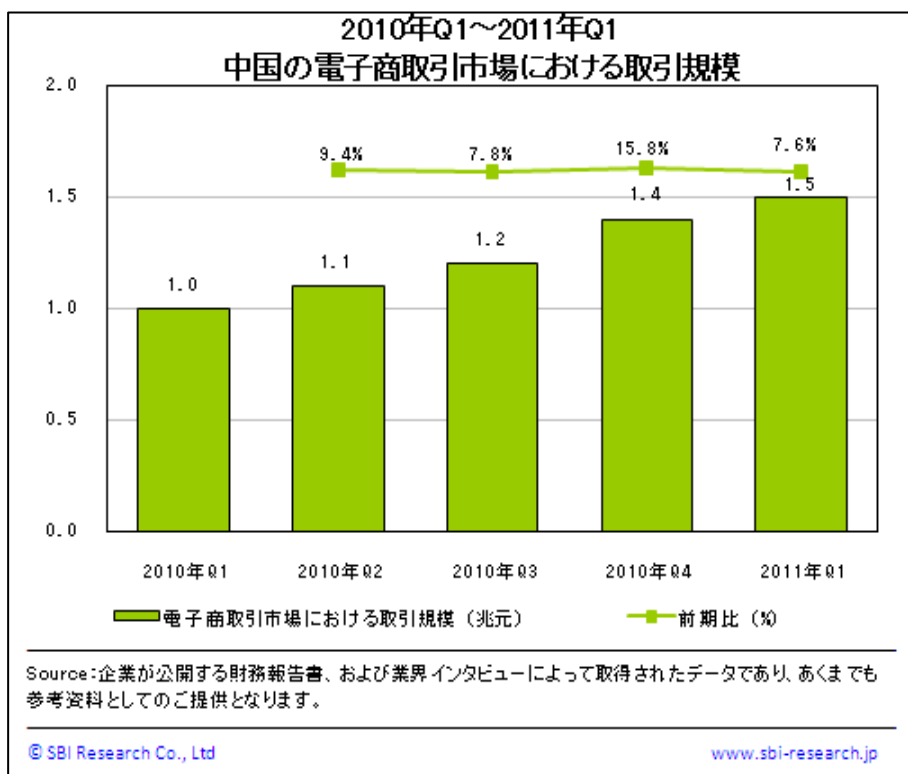
平成 23 年 9 月 13 日
SBI リサーチ株式会社**「中国の電子商取引に関する報告書-2011 年度第 1 四半期」の日本語版を発行**

中国国内におけるインターネット調査情報をもとに、日本の事業者に向けた情報・サービスを提供する SBI リサーチ株式会社(東京都港区 代表取締役: 沖田 貴史、以下「SBI リサーチ」)は、「中国の電子商取引に関する報告書-2011 年度第 1 四半期」の日本語版を発行いたしました。
(※)本報告書内での「第 1 四半期」とは、1~3 月を指します。

以下、報告書の内容を一部抜粋して、お知らせいたします。

【電子商取引の市場規模】

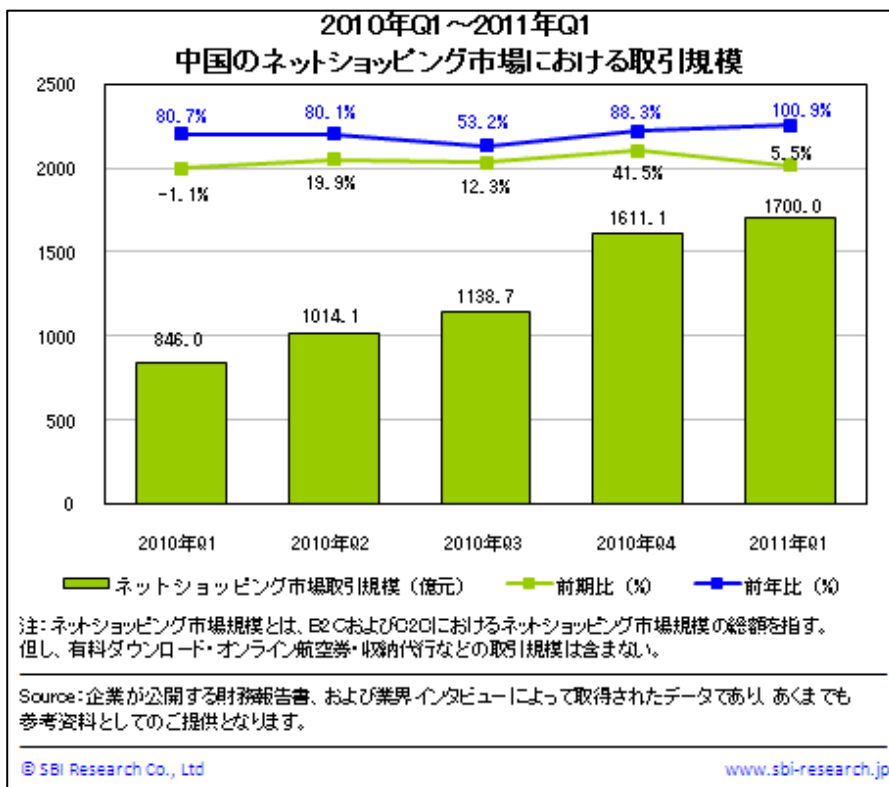
- ・2011 年度第 1 四半期の中国の電子商取引における市場規模は、前四半期に比べ 7.6%増加し、1 兆 5 千万円に達した。



なお、電子商取引市場のシェアは、B2B 間取引を行う中小企業の取引額がトップで 49.2%、次いで B2B 間取引を行う大手企業の取引が 38.2%を占め、B2B 間の電子商取引額が大半を占めた。

【中国ネットショッピング市場における取引規模】

- ・2011年第1四半期の中国ネットショッピング市場における取引規模は1,700億元に達し、前年同期に比べ、100.9%の伸びとなった。



また、中国ネットショッピング市場のシェアは、B2C市場においては、ECモール大手の淘宝(タオバオ)が運営する「淘宝商城(tmall.com)」が46.9%、家電製品を取り扱う「京東商城(360buy.com)」が15.0%と続いている。一方C2C市場では、淘宝の運営する「淘宝集市(taobao.com)」が90.5%を占め、アパレルや日用品など幅広いジャンルの商品を扱う「拍拍網(paipai.com)」が8.9%と続く。

【中国のネットショッピングユーザにおける特徴の変化】

- ・中国のネットショッピング市場においては、従来20代がメインユーザ層であったが、2010年以降、36～40歳の年齢層の取引が増加している。
- ・ユーザを収入別に見てみると、月収3,000～5,000元と、中国国内では比較的高収入なユーザが増加している。これは今までは、ネットショッピング市場が「割引商品を買うための場」であったものが、最近では「最新の流行ブランドを買うための場」とユーザの意識が変化してきている証拠である。

◆その他の主なトピックス

- 2011年度Q1 中国の電子商取引に関する見解
- 2011年度Q1 中国の電子商取引市場におけるモニタリングデータ
 - ・B2B電子商取引市場のモニタリングデータ
 - ・オンライン旅行予約市場のモニタリングデータ
 - ・第三者決済市場のモニタリングデータ
- 2011年度Q1 中国の電子商取引業界における分析速報

なお、次回は「中国のオンラインショッピング業界に関する報告書① 2010～2011年-業界編」を発行する予定です。

今後もSBI リサーチは、日本の事業者を対象に、中国でのEC 展開において有益な、最新で正確な現地のインターネット事情を取りまとめた報告書を毎月発行してまいります。

◆研究方法について

本報告書は、主として「上海艾瑞市場咨询有限公司」(上海アイリサーチコンサルティング有限公司 中国上海市 代表取締役:楊偉慶、以下「中国アイリサーチ社」)が行った業界へのインタビューやオンライン調査を総合的に分析した上、まとめられたものです。

業界へのインタビューでは業界のスペシャリストおよび関連企業担当者、エージェン트에詳細なインタビューを行うことで関連業界の主要状況を把握し、販売や市場等に関するデータを取得しています。

オンライン調査では、中国アイリサーチ社のインターネットユーザに対する観測・研究システム「iUser Tracker」と、電子商取引領域を総合的に観測・研究するデータプロダクト「Ecommerce Plus」を使用したユーザへの調査データと一部の公開情報(※)を比較し、最終的に業界規模のデータを構築しています。

(※)政府が公布するデータ・業界の公開情報・企業年報や季報・業界専門家の見解

その他のデータ、グラフ、情報などをご希望の方は、お気軽に以下にお問い合わせください。

【SBIリサーチ報告書 お問い合わせ・購入お申込みフォーム】

https://www.veritrans.co.jp/contact/sbiresearch_form.html

◆中国インターネット事情に関する報告書について

本報告書は、中国アイリサーチ社協力のもと、同社が中国国内で定期的に発表している中国のインターネット事情に関する報告書を日本語に翻訳したものとなります。

中国アイリサーチ社は、中国全域に様々なサーチ網を有し、最新かつ正確なデータ分析のもと、報告書を作成しております。SBI リサーチが日本語版を発行することにより、日本の事業者は日本で得ることが難しい現地のインターネット事情をいち早く入手することが可能となります。

【SBI リサーチ株式会社について】

社名： SBI リサーチ株式会社

設立年月日： 平成21 年11 月5 日

代表者： 代表取締役 執行役員Co-CEO 沖田 貴史

取締役 執行役員Co-CEO 楊 偉慶

事業内容：

- ・中国アイリサーチ社が中国国内で発表している各種インターネット白書の翻訳販売
- ・各企業向けにカスタマイズした個別調査などの中国市場調査事業
- ・中国へ向けたプロモーション展開を行う事業者の広告業務
- ・中国での商標権に関するコンサルティング業務

URL: <http://www.sbi-research.jp/>

【報告書に関するお問い合わせ】

SBI リサーチ株式会社 担当： 清水

Tel: 03-6229-0859

お問い合わせフォーム：

https://www.veritrans.co.jp/contact/sbiresearch_form.html

【データの掲載・取材に関するお問い合わせ】

SBI ベリトランス株式会社 コーポレートブランディング室 担当： 伊藤

Tel: 03-6229-0850(代表) Email: pr@veritrans.co.jp